

一般社団法人真山舎 (所在地：東京)

事業名

「リカバリーの学校@くにたち」と共生ネットワークの創設 ～しょうがいしゃ×生涯学習×地域づくり～

主な連携先

- ・一般社団法人たまぷらねっと(障害福祉サービス事業所)
- ・国立市教育委員会教育部公民館 ・社会福祉協議会 等

主な対象

精神・発達・知的しょうがいしゃ等を想定
 ※国立市の行政表記に倣い、固有名詞以外はすべてひらがな表記

事業の趣旨・目的

- ・「キョウドウを生きる暮らし」を実現するために、市民としょうがいしゃが地域で共に学びつなげる学びの場の共創。
- ・学びのキーワードは、対話（言語／非言語）と「リカバリー」。
- ・事業成果や研究成果を共有し、教育と福祉の関係者のつながりを生むハブとしての機能を強化しながら、地域の共生ネットワークづくりを推進。

事業実施体制

- ・ **主要な実行団体**：真山舎（事務局、事業評価、中長期計画）、たまぷらねっと（言語対話系プログラム担当）、国立市公民館（非言語交流系プログラム担当）
- ・ **連携協議会構成**：一橋大学教授、「リカバリーの学校 調布校」主宰者、国立市しょうがいしゃ支援課職員、国立市公民館職員、大学生ボランティア、国立市社会福祉協議会CSW、障害福祉サービス事業所ソーシャルワーカー

学習プログラムの内容

言語／非言語の対話（交流）をベースにした「リカバリー」の学び

A) 言語対話系プログラム（主に精神保健福祉の支援配慮を実施）

- ①リカバリーについて学ぶ「リカバリーの学校」（毎月開催7回）
- ②自分自身が人生の主人公になるための「語り」による学び（1回）

B) 非言語交流系プログラム（主に知的しょうがいの支援配慮を実施）

- ④伐採された桜の木を利用した木工クラフト講座（3回）
- ⑤音楽療法士による音楽ワークショップ（3回）
- ⑥属性や背景を超えてボールを追う「ダイバーシティサッカー」（3回）

※すべてのプログラムで障害の有無を超えた学びあいを目指す

今年度の取組状況

○キックオフイベントの開催（7月）及び成果確認（3月）

- ・初年度のため地域社会全体への広報
- ・中間報告及び参加者との座談会の実施
- **事業コーディネーターと事務局コーディネーターの活動**
 - ・事業と運営の情報を統合した一体感のある事業推進
 - ・カリキュラム内での参加者の回遊と地域での越境を意識したコーディネート
 - ・当事者発意の企画実現と講座でのボランティア参加などの当事者参画の推進
- **連携協議会の実施（全3回実施）**
 - ・ネットワークの核となって広報を含めた事業全体のフォロー
 - ・現場で発見した成果の抽象化とモデル化
 - ・社会的インパクト・マネジメントを活用した事業評価と改善サイクルの推進

その他

一般社団法人真山舎ホームページ



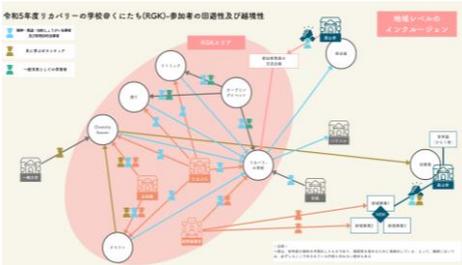
<https://www.sanayamaya.org/>



リカバリーの学校@くにたち特設サイト
(サイトデザイン改編中)



<https://www.recovery-gakko-kunitachi.com/>



令和5年度カリキュラムにおける参加者の回遊性と越境性を表した図



ダイバーシティサッカーでの対話の時間